

#### 4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
(1)	進路支援	目標	本校の進路目標（高南スタンダード）を全職員で共有し、学習習慣の形成や高い志望の設定など3年間かけて挑戦する気持と諦めない心を全校協力態勢で育成することを通して、高南スタンダードを達成する。
		計画	<p>①学習習慣形成については初期指導を重視する。また、面接週間以外でも校外模試後の面接を必須とするなど面接指導の充実を図る。</p> <p>②高い志望校の設定を指導し、面接によって支援しながら挑戦する気持と諦めない心を育成する。</p> <p>③1・2年生においては<b>ハイレベル模試受験を促すとともに模試対策講座を実施し、モチベーションを高める。3年生は金大模試や難関大模試など、学力層別の対策を講じる。</b></p>
(2)	学校生活	目標	生徒一人一人が自主・自律の精神に満ち、高岡南高校生としてふさわしい品格と高い目標を持って、自己実現に向け学校生活に全力で取り組めるよう支援する。
		計画	<p>①<b>校訓の精神を理解し、礼儀、時間厳守、身だしなみを中心に、南高校生としてふさわしい品格を身につけられる</b>ように指導しながら、生徒自身が主体的に自らの学校生活がより充実する方策を考え、実践する機会を提供する。</p> <p>②各活動の企画、運営に、<b>より多くの生徒が主体的にかかわることができるよう工夫し、</b>一つの目標に向かって、仲間と協力し支えあいながらやり遂げるすばらしさを体験できる場をより多く提供する。</p>
(3)	学校の活性化	目標	キャリアデザインプロジェクトの活動により、生徒一人一人が進路について考える機会を設定し、目標を持って自主的に活動できるように育む。
		計画	<p>①1学年では、<b>様々な職業人から学ぶ機会を設け、社会や自らのあり方について考えさせる。</b></p> <p>②2学年では、<b>大学との連携により探究的な活動を実施し、進路目標を具体化させる。</b></p> <p>③3学年では、個人研究により関心のあるところについて主体的に学び、進路目標の実現につなげる。</p>

(4)	ボランティア活動	目標	1 学年：自発的なボランティア意識の向上
			2 学年：自発的なボランティア意識の向上
			3 学年：生徒のボランティア意識の向上
		計画	1 学年：① <b>全クラスがホームルームでボランティア活動</b> を企画し実践する。 ② 生徒会のボランティア企画への参加を促す。
			2 学年：① 生徒会のボランティア企画や部活動、 <b>クラス単位での参加を促す</b> 啓発活動を行う。 ② 校内外のボランティア活動の情報提供に努める。
			3 学年：① <b>ボランティア活動が実践できるようホームルーム計画</b> を立てる。 ② 生徒会のボランティア企画への参加を促す。
(5)	教師力向上	目標	教科、学年、年代を超えて、教員が相互に学び合うことで、指導力の充実や向上を図り、学校の組織をより強固なものにする。
		計画	① <b>全教員による学習指導研修</b> により、授業力の向上を図る。 ② 年次研修を活かし、 <b>若手教員と中堅教員が相互に学び合う校内研修</b> を行う。